



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 西華産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8061 URL https://seika.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 昭彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 増田 博久 (TEL) 03-5221-7101
(管理管掌)
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	44,514	11.2	2,921	42.4	4,266	90.2	5,027	243.1
2024年3月期中間期	40,043	△1.0	2,051	42.0	2,243	84.2	1,465	73.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 4,076百万円(19.4%) 2024年3月期中間期 3,414百万円(119.6%)
代理人取引に係る売上高は、仕入高と相殺した純額にて表示しております。相殺前の総額につきましては、取扱高として以下のとおり開示いたします。

	取扱高	増減率
2025年3月期中間期	153,681百万円	58.7%
2024年3月期中間期	96,861百万円	40.7%

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 417.94	円 銭 414.54
2024年3月期中間期	121.57	121.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	110,168	45,896	40.8
2024年3月期	118,543	43,180	35.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 44,928百万円 2024年3月期 42,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2025年3月期	—	90.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	120.00	210.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	7.2	5,700	2.2	7,400	18.3	7,100	58.2	591.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

代理人取引に係る売上高は、仕入高と相殺した純額にて表示しております。相殺前の総額につきましては、取扱高として以下のとおり開示いたします。

	取扱高	増減率
通期（累計）	282,000百万円	37.3%

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社（社名） 台湾西華産業股份有限公司、除外 1社（社名）
株式会社田中造船

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	12,320,650株	2024年3月期	12,320,650株
2025年3月期中間期	341,144株	2024年3月期	270,720株
2025年3月期中間期	12,030,139株	2024年3月期中間期	12,055,980株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(修正再表示)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まりなどにより景気は緩やかな回復の動きが見られる一方で、資源・原材料価格の高騰や消費者物価の上昇、地政学的リスクの高まり、各国の金融引き締めに伴う経済への影響懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当中間連結会計期間における当社グループの業績につきましては、エネルギー事業における好調な業績推移や、プロダクト事業における連結子会社各社の堅調な業績推移が牽引し、売上高は前年同期比11.2%増の445億14百万円、営業利益は前年同期比42.4%増の29億21百万円となりました。また政策保有株式の売却による特別利益を計上したことから、経常利益は90.2%増の42億66百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比243.1%増の50億27百万円と何れも大幅増となりました。

各セグメントの状況は、以下のとおりであります。

「エネルギー事業」

九州地区の原子力発電所における定期修繕工事や、中国地区の火力発電所における主要設備更新等、西日本各地において大型案件の受け渡しが好調に進んだことで、売上高は前年同期比26.8%増の169億81百万円、セグメント利益は前年同期比182.6%増の15億10百万円の大幅増益となりました。

「産業機械事業」

米国のSEIKA MACHINERY, INC. を中心として海外現地法人各社の業績は堅調に推移し、また中期経営計画「VIORB2030 Phase1」にて重点分野として掲げている自動化・省人化関連商談の受注残高は着実に増加しているものの、当中間連結会計期間において当社単体の大型案件の受け渡しが少なかったこともあり、売上高は前年同期比13.9%減の115億95百万円、セグメント損失は1億61百万円(前年同期は87百万円のセグメント利益)となりました。

「プロダクト事業」

当社単体におけるUTドローンを活用したプラント設備点検等の各案件が進捗し、また欧州Tsurumi (Europe) GmbHグループの業績が好調に推移したことで、売上高は前年同期比20.8%増の159億37百万円、セグメント利益は前年同期比8.7%増の15億37百万円となりました。

なお、当社グループの海外売上高は、前年同期比4.8%増の85億97百万円となり、当社グループ全体の売上高に占める割合が19.3%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ83億74百万円(7.1%)減少し、1,101億68百万円となりました。これは、流動資産が81億33百万円、固定資産が2億40百万円減少したことによるものであります。流動資産の減少は、受取手形、売掛金及び契約資産が51億49百万円、現金及び預金が27億68百万円増加した一方で、前渡金が164億41百万円減少したこと等によるものであります。また、固定資産の減少は、建物及び構築物が1億3百万円、土地が67百万円、繰延税金資産が58百万円増加した一方で、投資有価証券が5億3百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ110億89百万円(14.7%)減少し、642億72百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が51億13百万円増加した一方で、前受金が157億15百万円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ27億15百万円(6.3%)増加し、458億96百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が10億42百万円、新株予約権が24百万円減少した一方で、株主資本が37億6百万円、非支配株主持分が75百万円増加したことによるものであります。

株主資本の増加は、自己株式が2億31百万円増加した一方で、利益剰余金が39億38百万円増加したことによるものであります。利益剰余金の増加は、剰余金の配当10億86百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する中間純利益50億27百万円の計上があったこと等によるものであります。

その他の包括利益累計額の減少は、為替換算調整勘定が8億7百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が18億16百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の35.7%から40.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、当中間連結会計期間において27億13百万円増加し131億42百万円となりました。なお、上記の内容には新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額46百万円を含んでおります。

また、前中間連結会計期間末における資金は、前中間連結会計期間において27億53百万円減少し78億99百万円となっております。なお、上記の内容には新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額4億47百万円を含んでおります。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によって、資金は26億77百万円増加(前中間連結会計期間7億4百万円の減少)しております。これは、投資有価証券売却益27億78百万円(前中間連結会計期間48百万円)の計上、持分法による投資利益11億70百万円(前中間連結会計期間39百万円)の計上、売上債権の増加による資金の減少48億98百万円(前中間連結会計期間32億79百万円)、前受金の減少による資金の減少158億75百万円(前中間連結会計期間52億87百万円の増加)、法人税等の支払額10億37百万円(前中間連結会計期間14億37百万円)等による資金の減少があった一方で、税金等調整前中間純利益70億44百万円(前中間連結会計期間22億74百万円)の計上、前渡金の減少による資金の増加164億61百万円(前中間連結会計期間52億14百万円の減少)、仕入債務の増加による資金の増加49億63百万円(前中間連結会計期間17億42百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によって、資金は10億94百万円増加(前中間連結会計期間1億37百万円の減少)しております。これは、関連会社株式の取得による支出18億13百万円(前中間連結会計期間一百万円)、有形固定資産の取得による支出3億37百万円(前中間連結会計期間3億4百万円)等による資金の減少があった一方で、投資有価証券の売却による収入32億5百万円(前中間連結会計期間1億76百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によって、資金は15億35百万円減少(前中間連結会計期間26億94百万円)しております。これは、配当金の支払額10億80百万円(前中間連結会計期間6億61百万円)、自己株式の取得による支出2億59百万円(前中間連結会計期間0百万円)等による資金の減少があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年8月8日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,428	13,197
受取手形、売掛金及び契約資産	53,475	58,624
リース投資資産	34	23
有価証券	100	105
商品及び製品	7,805	7,787
仕掛品	442	480
原材料及び貯蔵品	1,708	1,924
前渡金	21,021	4,580
その他	736	899
貸倒引当金	△153	△157
流動資産合計	95,599	87,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,084	1,188
機械装置及び運搬具	252	290
工具、器具及び備品	441	483
賃貸用資産	674	687
リース資産	163	146
土地	2,039	2,106
建設仮勘定	2	7
有形固定資産合計	4,658	4,911
無形固定資産		
のれん	156	117
施設利用権	118	120
ソフトウェア	348	332
その他	18	6
無形固定資産合計	642	576
投資その他の資産		
投資有価証券	16,413	15,910
長期貸付金	34	33
繰延税金資産	586	645
その他	637	664
貸倒引当金	△30	△37
投資その他の資産合計	17,642	17,215
固定資産合計	22,943	22,702
資産合計	118,543	110,168

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,588	49,702
短期借入金	7	12
リース債務	41	41
未払金	1,861	1,252
未払法人税等	788	1,831
前受金	20,791	5,075
賞与引当金	940	1,001
役員賞与引当金	123	120
その他	1,003	743
流動負債合計	70,146	59,782
固定負債		
長期借入金	18	27
リース債務	133	116
退職給付に係る負債	2,558	2,629
役員退職慰労引当金	22	42
株式給付引当金	-	30
繰延税金負債	2,012	1,169
その他	470	473
固定負債合計	5,216	4,490
負債合計	75,362	64,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,728	6,728
資本剰余金	2,040	2,040
利益剰余金	25,992	29,930
自己株式	△415	△647
株主資本合計	34,345	38,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,509	4,693
為替換算調整勘定	1,370	2,177
退職給付に係る調整累計額	38	5
その他の包括利益累計額合計	7,918	6,876
新株予約権	250	225
非支配株主持分	666	742
純資産合計	43,180	45,896
負債純資産合計	118,543	110,168

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	40,043	44,514
売上原価	29,837	32,408
売上総利益	10,206	12,105
販売費及び一般管理費	8,154	9,184
営業利益	2,051	2,921
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	95	85
有価証券売却益	2	0
持分法による投資利益	39	1,170
為替差益	52	1
その他	52	100
営業外収益合計	251	1,368
営業外費用		
支払利息	7	3
その他	51	20
営業外費用合計	59	23
経常利益	2,243	4,266
特別利益		
投資有価証券売却益	48	2,778
関係会社株式売却益	16	-
受取補償金	52	-
特別利益合計	117	2,778
特別損失		
投資有価証券評価損	85	-
特別損失合計	85	-
税金等調整前中間純利益	2,274	7,044
法人税、住民税及び事業税	731	1,986
法人税等調整額	39	△18
法人税等合計	770	1,968
中間純利益	1,503	5,076
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	1,465	5,027
非支配株主に帰属する中間純利益	38	48
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,129	△1,932
為替換算調整勘定	763	849
退職給付に係る調整額	△7	△34
持分法適用会社に対する持分相当額	25	117
その他の包括利益合計	1,911	△999
中間包括利益	3,414	4,076
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,334	3,985
非支配株主に係る中間包括利益	80	90

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,274	7,044
減価償却費	271	319
株式報酬費用	50	-
のれん償却額	50	52
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	60
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△75	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11	21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	△4
株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	30
有価証券売却損益(△は益)	△2	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△48	△2,778
投資有価証券評価損益(△は益)	85	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△16	-
受取利息及び受取配当金	△104	△95
支払利息	7	3
持分法による投資損益(△は益)	△39	△1,170
売上債権の増減額(△は増加)	△3,279	△4,898
棚卸資産の増減額(△は増加)	△623	275
前渡金の増減額(△は増加)	△5,214	16,461
仕入債務の増減額(△は減少)	1,742	4,963
未払金の増減額(△は減少)	△211	△257
前受金の増減額(△は減少)	5,287	△15,875
未収消費税等の増減額(△は増加)	330	16
未払消費税等の増減額(△は減少)	234	△334
その他の資産・負債の増減額	△176	△382
小計	551	3,454
利息及び配当金の受取額	168	190
利息の支払額	△8	△3
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,437	△1,037
その他	21	73
営業活動によるキャッシュ・フロー	△704	2,677

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△51
定期預金の払戻による収入	-	70
有価証券の取得による支出	△29	△10
有価証券の売却による収入	31	4
有形固定資産の取得による支出	△304	△337
有形固定資産の売却による収入	12	5
投資有価証券の取得による支出	△0	-
投資有価証券の売却による収入	176	3,205
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	29	-
貸付けによる支出	△10	△3
貸付金の回収による収入	3	4
関連会社株式の取得による支出	-	△1,813
関連会社株式の売却による収入	-	37
差入保証金の回収による収入	39	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	55
その他	△86	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	1,094
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,000	-
長期借入金の返済による支出	△3	△152
配当金の支払額	△661	△1,080
自己株式の取得による支出	△0	△259
非支配株主への配当金の支払額	△5	△22
その他	△23	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,694	△1,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	334	432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,201	2,667
現金及び現金同等物の期首残高	10,653	10,428
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	447	46
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,899	13,142

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の変更

前連結会計年度末において持分法非適用非連結子会社であった台湾西華産業股份有限公司は、営業開始により重要性が増したため、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、株式会社田中造船については、当中間連結会計期間中に当社連結子会社であるセイカダイヤエンジン株式会社が、同社の株式を取得したことにより、連結子会社に該当することとなったため、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

持分法適用の範囲の変更

当中間連結会計期間中に日本フェンオール株式会社の株式を追加取得したことにより、関連会社に該当することとなったため、当中間連結会計期間より持分法の適用範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

連結貸借対照表に関する注記

偶発債務

当社はある取引先から設備の性能未達を理由に契約解除に係る原状回復費用として479百万円の支払いを求める損害賠償請求訴訟を提起され、現在係争中であります。当社の正当性が全面的に受け容れられるよう、主張してまいります。

なお、現時点で将来発生した場合の債務の金額を合理的に見積もることができないため、当該偶発債務に係る引当金は計上しておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	エネルギー 事業	産業機械 事業	プロダクト 事業	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	13,390	13,464	13,188	40,043
外部顧客への売上高	13,390	13,464	13,188	40,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	308	686	1,014
計	13,409	13,773	13,874	41,058
セグメント利益	534	87	1,413	2,035

- 2 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,035
取引消去に伴う調整額	40
棚卸資産の調整額	△24
貸倒引当金の調整額	△0
固定資産の調整額	0
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,051

- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:百万円)

	エネルギー 事業	産業機械 事業	プロダクト 事業	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	16,981	11,595	15,937	44,514
外部顧客への売上高	16,981	11,595	15,937	44,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	110	387	512
計	16,995	11,706	16,325	45,027
セグメント利益又は損失(△)	1,510	△161	1,537	2,885

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,885
取引消去に伴う調整額	33
棚卸資産の調整額	2
貸倒引当金の調整額	0
固定資産の調整額	0
中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,921

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

プロダクト事業において、日本フェンオール株式会社の株式を追加取得し、当社の持分法適用関連会社としたことに伴って発生した負ののれん相当額955百万円を持分法による投資利益に計上しております。

なお、持分法による投資利益は営業外収益のため、セグメント利益には含まれておりません。